

# しおんだより VOL.4



## 思温病院 ハートチームの活動

心不全パンデミックという言葉をご存じでしょうか。心不全というのは、心臓の機能が落ちてしまう状態のことで、全身の血液を送り出すポンプとしての役割が十分に果たせなくなってしまう状態のことです。

軽度の足のむくみが見られることもあれば、少し歩くと息切れがするといった症状から始まり、横になることができず、座ったままでないと眠れない状況になることもあります。原因は一つではありませんが、やはり、高血圧・糖尿病・脂質代謝異常症といったいわゆる生活習慣病治療が十分でないことが心不全につながることもあります。

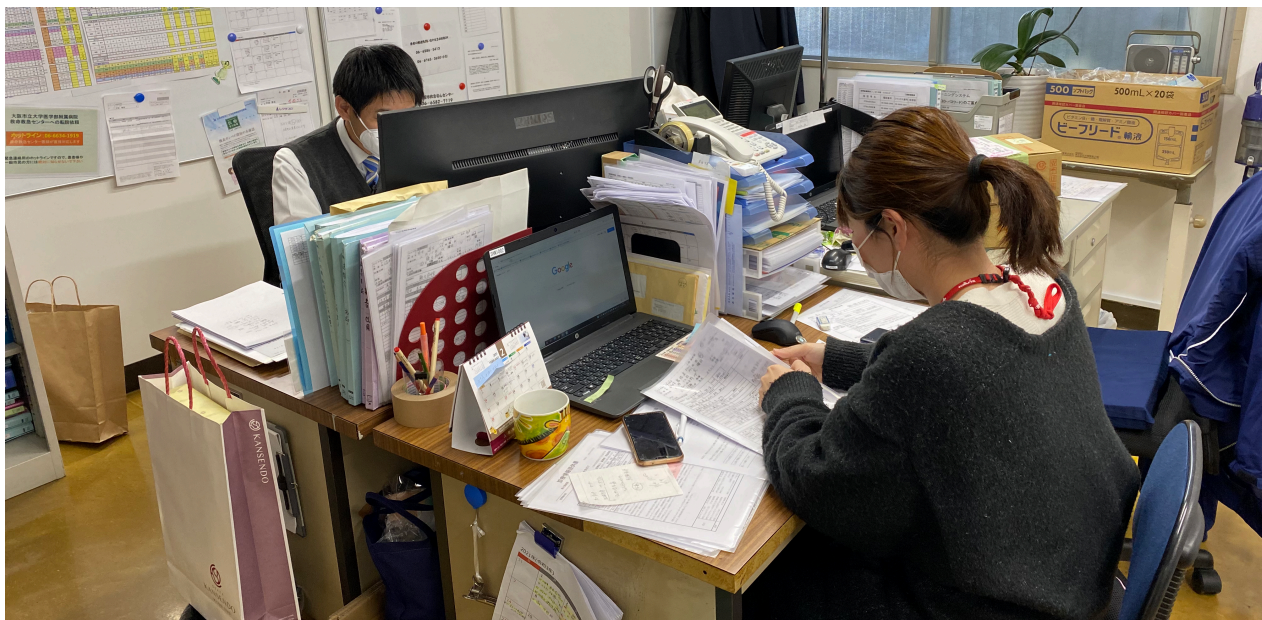
一方、パンデミックというのは、新型コロナウイルス感染症で一躍有名になりましたが、感染が一気に拡大し、患者数が激増するという現象を指します。もちろん、心不全は感染症ではありませんが、高齢化が進む我が国では、その患者数が激増しており、急性期病院だけでは支えきれない現状が明らかになってきました。

このような心不全パンデミックとも言うべき状況を踏まえ、当院では、急性期病院での治療を終えた方が自宅に帰るまでの治療・リハビリや、外来治療で心不全の症状が悪化した場合のしっかりした治療を多職種が連携して行うことで、地域の方々が安心・安全に過ごせるような環境作りを目指しています。

松田特別顧問、竹内副院長をはじめ、医師、薬剤師、理学療法士、MSWによる回診での一コマ。多職種が連携して患者さんの治療とケアをサポートします。

## 地域医療連携室が、円滑な入退院をプロデュースします

地域医療連携室。何やらいかめしい名前の部署ですが、医療機関においてはとても重要な役割を果たしています。病院ですので、医療機関や介護施設、ご自宅からの入院とともに、ご自宅や介護施設への退院、また、病状に応じた他の医療機関への転院など、患者さんの病状や背景に応じて適切な場所で治療や療養を行っていただいています。



そんな際に、患者さんに最も最適な場所をご一緒に見つけたり、実際に入・退院をしていただく際に、スムーズに事が運ぶように段取りをしたりする専用の部署が地域医療連携室です。その他、医療/介護の連携など、当院スタッフがきめ細かい支援を行います。お困りごとがあれば、病院1階の地域医療連携室まで、お気軽にご相談ください。

## 当院の新型コロナウイルス感染症 検査体制について

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、地域全体で対策を講じる必要があります。当院では、COVID-19の診療は行っていませんが、他の病院でCOVID-19の治療を終えられた方はご入院されています。現在のところ、ご面会制限などのご協力をいただいている中で、院内でのCOVID-19発生はありません。

とはいえ、このような状況下でも安心してご入院いただけるように、当院にご入院いただく場合、**入院時に新型コロナウイルスのPCR検査を施行し、その時点での陰性を確認**させていただいています。なお、本検査はコロナが心配な方や、有症状の方のコロナ判別のためのPCR検査は行っておりませんので、ご了承ください。



しおんだより 第4号 発行日：令和3年2月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)